

## 口永良部島の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

口永良部島では、本日（27日）07時頃から火山性地震が増加しており、16時までに34回（速報値）発生しました。

このため、口永良部島では火山活動が高まっていると判断し、本日（27日）17時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

口永良部島では火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、火口から1km程度の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

### ○ 活動概況

#### ・地震、微動活動（図2、図3）

火山性地震は、本日（27日）07時頃から増加しており、16時までに34回発生しました。震源はこれまでと同様、新岳火口直下のごく浅いところに分布しました。

火山性微動は、5月下旬以降発生していません。

#### ・噴煙など表面現象の状況

遠望カメラ（新岳火口の北西約3km）の観測によると、新岳火口周辺の状況に変化はありません。

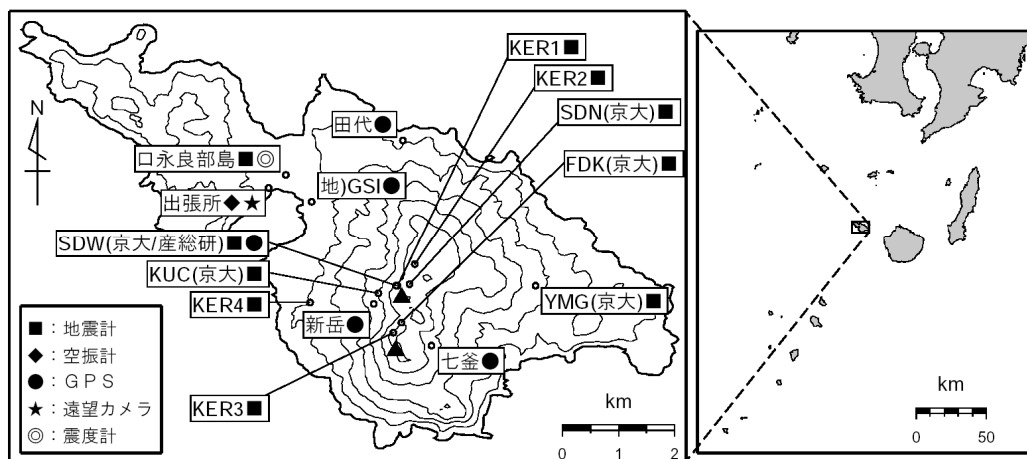


図1 口永良部島 観測点配置図

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

※この資料は気象庁のほか、京都大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 20 業使、第 385 号)。

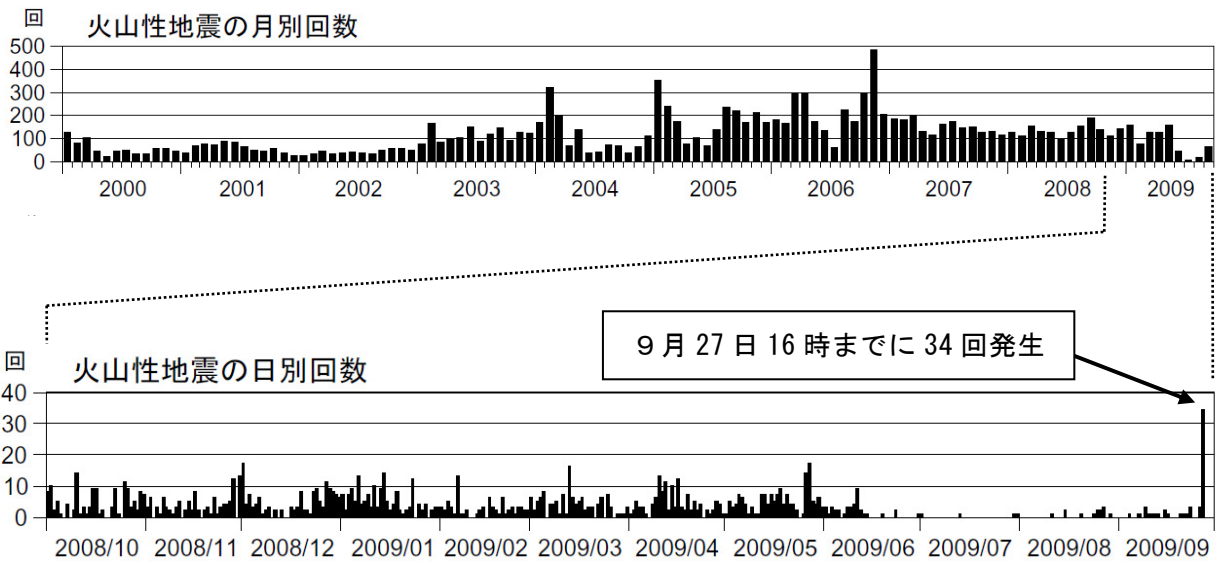


図 2 ※ 口永良部島 火山性地震の発生回数（2000 年 1 月 1 日～2009 年 9 月 27 日 16 時）  
本日（27 日）07 時頃から、火山性地震が増加しています。

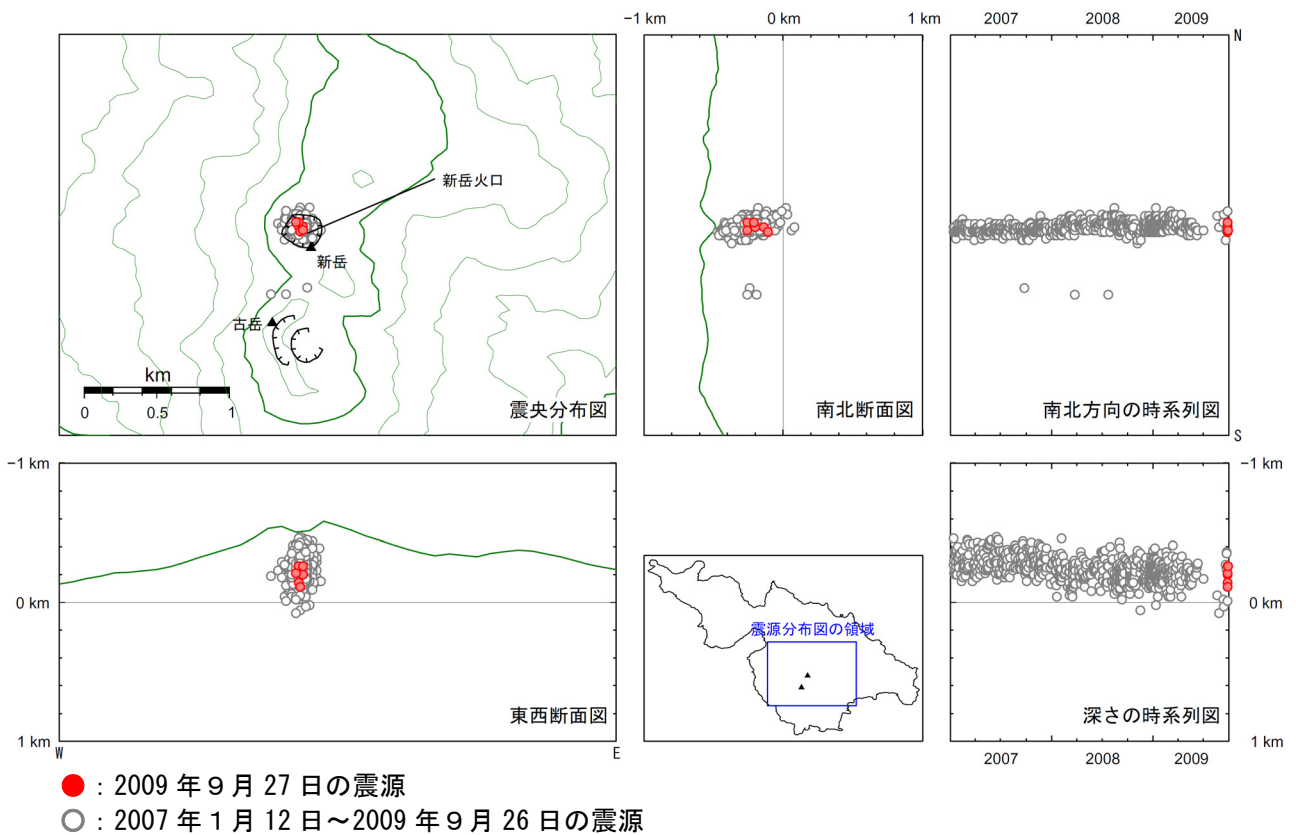


図 3 ※ 口永良部島 震源分布図（2007 年 1 月 12 日～2009 年 9 月 27 日）  
火山性地震の震源はこれまでと同様、新岳火口直下のごく浅いところに分布しました。